

Do! ネット



北海道生活科・総合的な教育連盟 情報交流誌 令和7年8月 No. 73

「つながり」は参加から

北海道生活科・総合的な学習教育連盟

委員長 加藤 秀樹

(札幌市立豊平小学校 校長)



■連盟は、子どもを育てる研究団体です

今年度も委員長を務めます、加藤です。どうぞよろしくお願ひいたします。

私たち連盟は、子どもから学び、子どもを育てる研究団体のネットワーク（人のつながり）です。勤務校が異なる生活科・総合の実践者との「つながり」によって、子ども観・授業観・仕事観が広がります。連盟の「つながり」のよさを会員の皆様に実感してもらえるように引き続き努めていきます。

■研修会・研究大会に参加しましょう

昨年度の全道研究大会旭川大会では、生活科と総合的な学習の時間で育つ子どもの姿を明らかにしながら、未来を創造する学び、まちへの愛着を強める学びを共有することができました。

さて、今年度は7月に全道夏季研修会、10月には全道研究大会釧路大会が開催されます。

今回の全道夏季研修会では、オホーツク地区の皆様のご尽力により、北海道大空高等学校の大辻雄介校長先生を講師に迎えることになりました。大辻校長先生は、高校の魅力化プロジェクトとして探究学習を推進し、総務省地域情報化アドバイザーを務めるなど、未来創造プロデューサーとしてご活躍しています。私たち連盟の授業づくりに新しい視座からご教示をいただけることを楽しみにしています。

また、今回の釧路大会は、「11年ぶり」または「18年ぶり」という思いで、釧路地区の皆様が授業づくりと大会運営に努めています。令和2年の釧路大会はコロナ禍によって中止、平成26年の釧路大会は台風の影響によって釧路市内の会場校が臨時休校となり、授業公開は阿寒小学校のみとなりました。完全開催としては、平成19年の釧路大会（会場：大楽毛小学校）以来、18年ぶりとなります。

釧路地区の皆様の思いに応えるため、10月3日、4日に、全道の会員が釧路大会に結集し、生活科と総合的な学習の時間で育つ釧路の子どもの姿を価値付け、共有しましょう。

■次期学習指導要領改訂に向けた情報へのアンテナを

今年に入り、中央教育審議会の教育課程企画特別部会の毎回の審議情報（資料）が公表されています。

5月22日に開催された特別部会（第8回）では、「質の高い探究的な学びの実現について（情報活用能力との一体的な充実）」が議題となり、探究的な学びで育つ子どもの資質・能力に焦点が当てられ、総合的な学習の時間の価値や役割を確認する議論が行われました。

特別部会の審議情報（資料）は、道連盟HPから簡単に検索できます。探究的な学びを実践する研究団体として、今後の議論の方向性や論点に注目していきましょう。

【右：連盟HPのリンク表示】 <https://seisouren2024.main.jp/>

特設
次期学習指導要領
に関する審議経過
COURSE OF STUDY

【特設】次期学習指導要領 改訂に向けた中教審の審議経過

■その都度、資料を掲載しています (6/17更新 NEW!)

北海道で目指す、これから学びを探る一年に

研究部 中嶋孝幸（北海道教育大学附属札幌小学校）

昨年12月に、大臣の諮問がありました。そこから、次期指導要領改訂に向けた動きが始まり、現代の教育における諸課題に基づく教育の方向性や現行指導要領の見直しが進んでいます。

北海道生活科・総合的な学習教育連盟の研究主題は、「自ら学びの世界を拓げ、よりよい自分を創る子ども」です。これまで長くの間、この子ども像を全道で目指す子どもの姿と捉え、毎年研究の重点を設定しながら研究を進めてきました。「自ら学びの世界を拓げ」という言葉には、搖るぎない生活科・総合における「主体的な子ども」の姿を、「よりよい自分を創る」という言葉には生活を豊かにしたり、自己の生き方を問い合わせたりする子どもの姿を思い描きながら、これまで多くの実践が重ねられてきました。

現在、釧路地区では、第34回の全道大会に向け、「一人一人が探究に没頭し、『私の可能性』を自覚する学び手」という大会主題のもと、どのような学びが「私の可能性」につながり、どうすれば子どもがそれを自覚できるのかということを追い求めて、実践をしているところです。

また、旭川地区では、令和11年度に旭川で開催される学会の全国大会に向け、旭川の目指す子ども像や授業像について議論を重ねているところだともうかがっています。

全ては書ききれませんが、いつでも簡単につながることができるようになった今、全道の他地区の地取組や研究の進捗を簡単に共有できるようになったことで、距離がぐんと近くなっていることを実感しています。

このように、目の前の子どもたちをどう育てていきたいかをとことん考え、研究を進めていくことが、私たちの使命です。ですから、目の前にいる北海道の子どもたちの生き生きと学ぶ姿を描き、そのために必要なことを考えて、私たちもプラスアップしていかなければと思っています。

各地区には各地区のよさがあります。その地区で大切にしている子ども観や、その地区特有の材などです。北海道の強みは、その地区によって全く異なる文化、環境があるという「多様性」だと考えています。どの他都府県と比べても北海道ほど多様性にあふれる地域はないでしょう。

この「多様さ」を今一度捉え直し、地区の強みと、全道各地区に共通して脈々と流れる、生活科・総合的な学習の時間で大切にしていることを整理することで、全道一丸となって生活科・総合的な学習の時間の充実を図りたいと考えています。そのファーストステップとして今年度の釧路大会、次年度の南北北海道大会、そしてオホーツク大会、札幌大会と北海道の目指す生活科・総合の授業像、子ども像を明確にして、旭川の学会全国大会につないでいきたいと考えています。

北海道で目指すこれからの学びを探り、全道共通の眼鏡をもって、研究を推進していきたいと考えています。「チーム北海道」として、共に学び合っていきましょう。



令和7年5月16日（金）、本連盟の総会が行われ、全道各地区からZoomによるオンラインでの参加となりました。加藤委員長からの挨拶に続き、川見事務局長より令和6年度の各部の一年間の取組の様子が報告されました。また、令和7年度の活動計画では、近年の「会員数の減少」や「人手不足」を解消するために、業務負担を軽減する工夫や組織再編についての内容が確認されました。中嶋研究部長からは、今年度目指す方向性が示され、夏季研修会、全道大会に向けて話し合いを重ね、準備を進めていきたいとの話がありました。最後に、今年度の新役員発表、事務局員委嘱が行われ、令和7年度の新体制がスタートしました。



《令和7年度 役員》

委員長	加藤 秀樹（札幌市立豊平小学校長）	監査	西 宏（札幌市立北陽小学校長）
副委員長	渋谷 一典（北海道教育大学教職大学院教授）	理事	永根 祥一（札幌市立厚別北小学校長）
	大宮 健一（札幌市立幌南小学校長）		渡辺 一生（札幌市立あいの里西小学校長）
	能登 貴章（札幌市立幌北小学校長）		丹羽 洋彦（札幌市立緑丘小学校 教頭）
	野上 大輔（旭川市立神居小学校長）	事務局長	川見 明子（札幌市立東光小学校長）
	照井 貴幸（釧路市立朝陽小学校長）		
	宮森 仁之（函館市立桔梗小学校長）		
	西條 直志（留萌市立緑丘小学校長）		
	大西 篤（大空町立東藻琴小学校長）		
	岸 美香（美瑛町立美馬牛小学校長）		
	山下 秀一（共和町立共和中学校長）		

令和 7 年度 第 1 回全道代表者研修会 報告

令和 7 年 5 月 13 日 (火) 、令和 7 年度 第 1 回全道代表者研修会がオンライン (Zoom) にて開催されました。全道各地から加盟地区の代表者が参加し、道連盟全体としての見通しや課題を共有するとともに、情報交換が行われました。

はじめに、道連盟 加藤委員長より挨拶があり、今年度の連盟活動の方向性や、地区の特色を生かした学びの推進への期待が述べられました。

続いて、各地区から活動報告と見通しが紹介され、各地で工夫を凝らした研修会の予定が共有されました。以下のように全道総会における提案内容について事前説明がありました。

【次年度以降の全道研究大会の開催地区（案）】

令和 8 年度：南北海道地区

令和 9 年度：オホーツク地区

令和 10 年度：札幌地区

また、将来予定される R19 年の全国協議会（北海道札幌大会）に向けた候補地として、札幌地区の立候補の意思が確認されるなど、長期的なビジョンを見据えた協議も行われました。

その他、加盟費の見直し、備蓄会計の縮小、新年度の活動方針として「全道冬季研修会の在り方」なども議題に挙がりました。会員数減少や物価高騰といった現状をふまえ、持続可能な体制づくりが求められていることが再確認されました。

令和 7 年度 第 2 回全道代表者研修会 報告

令和 7 年 7 月 1 日 (火) 、第 2 回全道代表者研修会がオンラインで開催されました。Zoom を通じて道内各地区から代表が参加し、各地区的現状や見通しについて情報共有が行われました。

冒頭では、道連盟 加藤委員長より、地区の活動への感謝と後期に向けた実践の積み重ねの重要性が語られました。来年度以降の全道大会・研究大会、R19 全国協議会（札幌）に向けた準備にも触れ、継続的な連携の大切さが確認されました。続いて、札幌・釧路・上川など各地区から、授業公開や研究協議を軸にした進捗報告があり、特色ある教育実践が話されました。特に釧路地区では、10 月の全道研究大会に向け、分科会や講師の調整などの準備が進められています。

また、南北海道地区やオホーツク地区からは、研修会を通じた実践交流や授業改善に向けた報告があり、「子どもたちの学びをどう支えるか」という共通の問い合わせのもと、各地区が前向きに取り組んでいる様子が印象的でした。

全国大会 (R19) の立候補の意向が再確認され、道連盟としての中長期的なビジョンも共有されました。全道 LINE グループの活用、連絡体制の強化、ブックレット頒布なども確認されました。

次回 (第 3 回) の研修会は 9 月 29 日 (火) に予定され、全道研究大会の最終確認が中心となります。

【速報】令和 19 年度 全国協議会全国大会（北海道札幌大会）が正式決定！

7 月 4 日 (金) に東京で行われた全国協議会理事会で、令和 19 年度の北海道札幌大会が決定しました。

令和7年度 北海道生活科・総合的な学習教育連盟 四役名簿

地区	役職	氏名	職名	所属校
【道連盟】 北海道生活科・総合的な学習教育連盟	委員長	加藤 秀樹	校長	札幌市立豊平小学校
	副委員長	渋谷 一典	教授	北海道教育大学教職大学院
	副委員長	大宮 健一	校長	札幌市立幌南小学校
	副委員長	(各地区会長・委員長)		
	監査	西 宏	校長	札幌市立北陽小学校
	事務局長	川見 明子	校長	札幌市立東光小学校
	研究部長	中嶋 孝幸	教諭	北海道教育大学附属札幌小学校
	情報部長	武田 香織	教諭	札幌市立平岡中央小学校
【札幌地区】 札幌市生活科・総合的な学習教育連盟	委員長	能登 貴章	校長	札幌市立幌北小学校
	事務局長	渡辺 一生	校長	札幌市立あいの里西小学校
	研究部長	助川 陽一	教諭	札幌市立大谷地小学校
	情報部長	武田 香織	教諭	札幌市立平岡中央小学校
【旭川地区】 旭川市生活科・総合的な学習教育連盟	会長	野上 大輔	校長	旭川市立神居小学校
	事務局長	植村 博行	教頭	旭川市立西御料地小学校
	研究部長	河田 弘康	教諭	旭川市立大有小学校
	情報部長	山下 曜	教諭	旭川市立末広北小学校
【釧路地区】 釧路生活科・総合的な学習教育研究会	会長	照井 貴幸	校長	釧路市立朝陽小学校
	事務局長	渡部 潤	教頭	釧路市立愛国小学校
	研究部長	水上 翔	教諭	釧路市立大楽毛小学校
	情報部長	松田 和也	教頭	釧路市立鶴野小学校
【南北海道地区】 南北海道生活科・総合的な学習教育研究会	会長	宮森 仁之	校長	函館市立桔梗小学校
	事務局長	阿部 智	主幹教諭	北海道教育大学附属函館小学校
	研究部長	鎌田 尚吾	教諭	北海道教育大学附属函館小学校
	情報担当	遠藤 哲史	教諭	長万部町立長万部小学校
【留萌地区】 留萌地区生活科・総合的な学習教育研究会	会長	西條 直志	校長	留萌市立緑丘小学校
	事務局長	平野 清也	教諭	留萌市立留萌小学校
	研究部長	西山 洋平	教諭	留萌市立緑丘小学校
	情報担当	平野 清也	教諭	留萌市立留萌小学校
【オホーツク地区】 オホーツク地区生活科・総合的な学習教育連盟	会長	大西 篤	校長	大空町立東藻琴小学校
	事務局長	加藤 将義	教頭	斜里町立斜里小学校
	研究部長	中尾 隼人	教諭	北見市立三輪小学校
	情報部長	宮内 盛一	教諭	北見市立南小学校
【上川地区】 上川地区生活科・総合的な学習教育研究会	会長	岸 美香	校長	美瑛町立美馬牛小学校
	事務局長	青山 貴	教頭	占冠村立占冠中央小学校
	研究部長	瀬尾 祐貴	教諭	名寄市立名寄小学校
	情報担当	林 琢磨	主幹教諭	名寄市立名寄南小学校
【後志地区】 後志生活科・総合的な学習研究協議会	会長	山下 秀一	校長	共和町立共和中学校
	事務局長	西岡 健幸	校長	赤井川村立都小学校
	研究部長	土岐 龍大	教諭	共和町立北辰小学校
	情報部長	福 一紀	教諭	俱知安町立俱知安小学校

【備考】

- 地区組織は北海道生活科連盟（当時）への加盟順に表記。
- 十勝地区は平成13年度から休会、胆振地区は平成25年度から休会、渡島地区は令和6年度から休会。
- ネット研究会（地区外の道内・道外会員）は平成19～25年度に活動。（その後休会）
- 令和7年度、函館地区を中心に渡島・松山地区を統合して南北海道地区を設立。